



寄り添う心
つながる手

心がいっぱい
朝日町ボランティア
マスコット
ハートフルちゃん

ふれあいネットワーク

令和6年1月1日

第28号

編集・発行
朝日町社会福祉協議会
富山県下新川郡朝日町泊418
tel.0765-83-0576
fax.0765-83-1589
http://asahiwel.com

ハートフル通信

オール朝日町で支える 安心生活のまちづくり(町社協の基本理念)

地域福祉博士養成講座カリキュラム

日時	内容	講師
1 11月10日(金) 13:30~15:30	開講式 福祉教育とボランティア活動	富山短期大学: 関好博 教授 富山県社協: 水井 地域福祉部長
2 11月20日(月) 13:30~15:00	朝日町社協の使命と事業	朝日町社協職員 富山県社協職員
3 12月1日(金) 13:30~15:30	地域のお宝発見講座 ~目指せ地域のプロ~	NPO法人全国コミュニティライフ サポートセンター: 池田昌弘 代表
4 12月25日(月) 13:30~15:00	楽しく集いの場を広げよう ~ふれあいいきいきサロン~	富山国際大学: 相山 馨 教授 サロン活動者
5 1月15日(月) 13:30~15:00	つながり、見守りについて 考えよう~ケアネット活動~	富山国際大学: 相山 馨 教授 ケアネット活動者
6 1月26日(金) 13:30~15:00	ここまでの振り返り 閉講式	富山国際大学: 相山 馨 教授

「人と人は関わることで、その人によりよい変化が生まれていく…。それを見つめていくことに地域福祉の醍醐味がある」このフレーズを掲げ、地域福祉を学ぶ「地域福祉博士養成講座」の受講者募集を行いました。しかし、3ヶ月にわたる全6講の力リキュラム編成のため、参加のハードルが高いことを心配していました。

特集

誰かとながら 明日の暮らしを想う

様々な人が暮らしを営み、互助を基盤としたそれぞれの地域におけるそれぞれの暮らし。そのような「それぞれ」を認め合い、気に掛け合う気持ちがある。そして、自分の人生の中で少しでも、誰かの役に立ちたいという、あたたかい想いの方々がこの町にはいます。今号では、そのような想いを抱く人と共に学び合った「地域福祉博士養成講座」の様子をお届けします。

応募期間が始まると、先述のフレーズに呼応するように、「私も変わりたい」、「人と関わりたい」、そして「誰かの力になりたい」という想いを抱いた住民の方々が、次々と申込みをしてくださいました。結果、募集定員を上回る32名の方が受講しております。



現在、第4講までの講義が終わり、ここまで共に歩みを進めてきた参加者の皆さんは、地域福祉について少しずつ理解を深め、自身が興味・関心をもてる地域福祉活動を見つけているところです。



参加者の皆さんが、講座で感じたことをその場で発言できるよう、毎回グループ内での共有を大切に講座を進めています。

第3講「地域のお宝発見講座」を目指し地域の「プロ」は、グループワークを中心に講座が展開されました。そこで参加者の皆さんは、日々、自分がやっていることを「集いの場(サロン)」、「仲間づくり」、「安否確認見守り」、「健康づくり」の4つに分類し、グループで発表し合いました。

発表後、グループで各自の活動の役割を考えました。「健康づくりのためのウォーキング」だけ、実は互いの存在を確認し合える安否確認になっているよね、やお茶飲み会は集いの場の役割だけではなく、仲間づくり、安否確認見守りの役割もあるよね、など、様々な意見が飛び交いました。

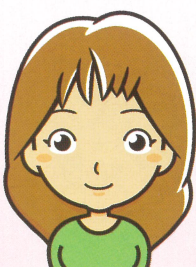
自分たちが日頃、何気なく行っている小さなことが、実は地域福祉(地域づくり)に大きな意味を持っていることを学んだ素晴らしい講座となりました。

*石原 かおりさん

地域や福祉のことを知りたい気持ちがあり、友人からの誘いで参加しました。地域福祉はとても奥深そうですが、人や地域のお役に立つことで、自分の成長につながることを学びました。今後の講座にも興味があります。

朝日町のボランティアにはいろいろあり、多くの方が活躍されていることに感心すると共に、人のことを思う気持ちが伝わってきました。朝日ふくしフェスティバルもそのひとつであることを知り、今後から行ってみたいかなと思いました。

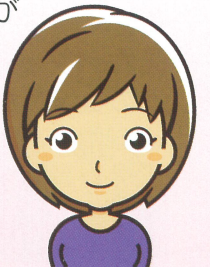
毎回グループで話をする時間がありますが、既に活動されている、他の方々のお話はとっても勉強になります。



*瀧 真由美さん

以前よりボランティア活動に興味があり、いつか携わりたいと考えておりました。今回、この講座が開催されることを知り、地域福祉に関する幅広い知識が学べると思ったのと、私でも誰かの役に立ち、その方が笑顔で幸せを感じてもらえるなら、それは自分の喜びと幸せになると思い参加しました。

今回、朝日町社会福祉協議会について知ることができてよかったです。朝日町の高齢化率の今後の推移にとっても驚いたと共に、安心して暮らしていけるように、地域やまわりの人たちで支えあっていくことが大切と学びました。そのお手伝いが少しでも私にできればいいなと思っています。



受講者の声

〜第2講 朝日町社会福祉協議会が担う地域福祉活動に触れて〜





住民アンケートについて

朝日町在住の方500名を対象に「地域福祉に関するアンケート調査」を実施し、233名の方から回答があり回収率は46.6%でした。そのアンケート調査の結果の一部をご紹介します。アンケートにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

●「日常生活でどんな悩みや不安を感じていますか」の問いには、「自分や家族の将来のこと」が23.8%と最も多く、次いで「健康に関すること」が14.4%、「今は特になし」が12.4%、「経済面に関すること」が12.1%でした。

●「悩みごとを相談するとしたら誰に相談しますか」の問いには、「家族・親族」が一番多く26.5%、「近所の知人・友人」が22.4%となりました。平成28年度の調査結果では「家族・親族」が47.2%、ついで「近所の知人・友人」が18.8%でした。

分かったこと
平成28年度のアンケート結果と比較すると、今回のアンケート結果の方が、「家族・親族」に相談する方が減り、「近所の知人・友人」や専門機関へ相談する方が増えているようです。

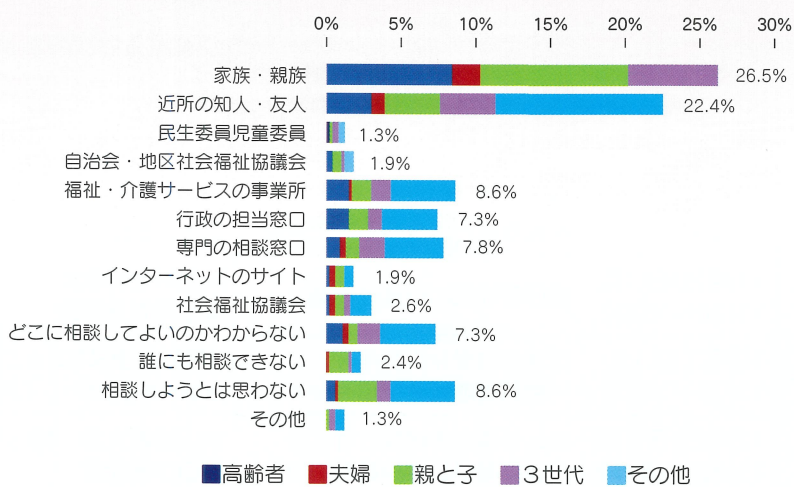
●「地域のボランティア活動に協力しても良いと思うもの」の問いには、「地区や町内の活動」が一番多く22.3%、「何ができるかわからない」が17.1%、次いで「話し相手や声掛けなどの見守り」が12.4%となりました。

分かったこと
平成28年度のアンケート結果と比較すると、今回のアンケート結果の方が、「地区や町内の活動」が3.2%減り、「何ができるかわからない」が3.7%増えているようです。
また、「災害時のボランティア活動」に対しては20代～40代の関心の高さが窺えます。

詳しい調査結果は、朝日町社協HPをご覧ください。

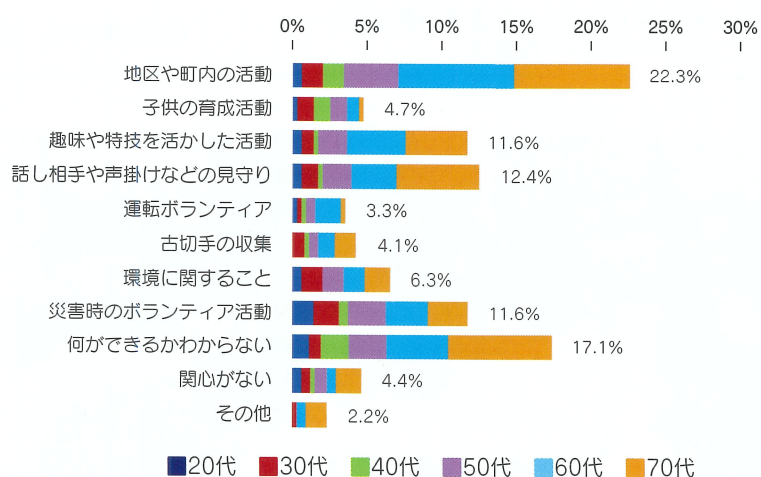
総数464件

相談する相手



総数363件

協力しても良いと思うもの



《ご報告》障がい者スポーツ交流会

朝日町社会福祉協議会では今年度、2回の「障がい者スポーツ交流会」を開催しました。ポッチャや卓球バレー、フライングディスクという「障がい者スポーツ」を通じて、障がいの有無や老若男女を問わず、様々な方が障がいに対する相互理解を深め、手軽にスポーツに親しみ、スポーツの楽しさを体験することを目的に開催しました。

この「障がい者スポーツ」は、単に順位を競うというものでなく、「他者との関わり方」を学び合う貴重な機会であると感じました。目や耳が不自由な方、手足が不自由な方、体力があまり無い子どもなど様々な事情を抱えた個人と向き合うとき、「どのようなことで不安を感じ、どんな関わり方（サポート）があれば安心できるのか」を考えます。そして相手とコミュニケーション過程そのものがお互いを知る第一歩であると思いました。参加者からは「今後もこのような交流会があれば参加したい」「障がいのある方のサポートをもう少し具体的に知りたい」など様々なご意見もいただきました。



ポッチャ



卓球バレー

●「5年後のあなたの地区はどのような地区だったら住みやすいですか」の問い（自由回答）には、119名の方から回答がありました。（以下、抜粋）

- ・元気な高齢者同士支え合って生活している地区。
- ・若者や子どもが少しでも増えて欲しい。
- ・月2回程度の話せる場所や声掛けし合える地区。
- ・移手段の充実。
- ・地区の行事などを続けていき、地域での自分の役割をもてる地区。
- ・空き家対策の充実。
- ・有害鳥獣に悩まされることのない地区。
- ・子どもを産み育てやすい環境が整い、多くの方が助けあい笑顔あふれる地区。つながりがある地区。
- ・今のままで良い。



「声を掛け合う」「支え合い」という意見も多くあり、“人とのつながり”を大切にしているのを感じました。「自分の役割」を感じることで、地域における自分の居場所を感じることもできるんですね♪



小中学校の福祉教育・ボランティア活動のご紹介

朝日中学校 赤い羽根共同募金

朝日中学校生徒会より、赤い羽根共同募金をご寄付いただきました。

校内で募ったお金は、計11,235円。この募金は、朝日町においては児童クラブ連合会の各事業や民生委員の活動支援、子育て中のママの健康増進や情報交換の場づくり等へ使われる予定です。中学校の生徒の皆さんが住む朝日町において“人とのつながり”を育むためにこの募金は使われます。

朝日中学校生徒会の皆さん、本当にどうもありがとうございました。



さみさと小学校・あさひ野小学校 福祉教育の授業

さみさと小学校、あさひ野小学校の各4年生の「総合的な学習の時間」において、福祉教育の授業が進められています。

さみさと小学校では、朝日町で暮らす高齢者や視覚障がい者の方々に学校に招き、「関わること」でその人の考え方や価値観に寄り添う大切さを学びきっかけとなりました。

あさひ野小学校では、大庄地区にある福祉施設「共生の里あさひ」の職員さんから、長年の人生を歩んできた高齢者に関わる喜び、尊さ、関わるうえでの気を付けることなどを学ぶ予定です。



さみさと小学校4年生「総合的な学習の時間」の様子

～収集ボランティア活動～ ご協力ありがとうございました

- ◆社会福祉法人 有機会 様 ◆森野 稔 様
- ◆明文堂書店 様

ほか、匿名の方々からもたくさんのご寄付をいただきました



編集後記

新年明けましておめでとうございます。今号では、「地域福祉博士養成講座」を中心に「人とのつながり、関わる喜び」をお伝えしました。そんな喜びあふれる笑顔が、今日の自分を後押しし、明日の自分を一歩前に進めてくれるのではないのでしょうか。



朝日町社協HP



朝日町社協Facebook